

香港山旅、島旅、山仲間との旅

2018・12・6～10 益田（2）小畑（2）西田（2）

香港アルプス、5回目の遠征となった。遠征というには低山だが、海を眺めながら登るハイキングは何回行っても楽しい。益田夫妻とは



3回目だが、今回は小畑夫妻も加わり3組となった。小畑さんとは山スキーで出会い、岩登りを教わり、ヨーロッパアルプス遠征につなげてもらった。2000年のヒマラヤ遠征では益田、小畑の兩人にお世話になった。私にとって心強い山の先輩である。



なかなかかっこよくて眺めもよさそうだが、あいにくガスがかかり、初参加の小畑夫妻をがっかりさせてしまっただろう。



翌日は大東山（サンセットピーク）に登る。隣の鳳凰山に登る小畑夫妻と峠で別れた。やはり香港アルプスでは鳳凰山が筆頭だろう。が、大東山もなかなかいい山だった。雄大な山が連なり遙か先まで縦走路が見渡せるのも香港アルプスの魅力である。登りがいいもあるが、下りも長かった。



夜は屋台村に繰り出し、美味そうな隣の料理を指さしながら注文して、たらふく飲んで食べた。食も香港

の旅の楽しみである。

3日目は離島のハイキング。蒲台島（ポートアイランド）は全体が岩でできているが、花崗岩の岩山歩きは快適で眺めも良かった。前回はラマ島をハイキングしたが、次は仲間と離島めぐりもいいなと思った。下山後の海鮮料理もおいしかった。



最終日は飲茶で締めにする。香港では飲茶をモーニングのように気軽に楽しんでいる。どれも

おいしいがさすがに朝からビールを頼む勇氣はなかった。LCCのおかげで国内旅行のように気楽に行ける。益田氏がまた行くかに即答はできなかったが、香港の交通パス（オクトパス）はそのまま持ち帰った。

